

テーマ選定マトリックス

[] 部分に記入する。



評価項目						相乗積	5乗根	ウエイト%	選定順位
利用者の満足度	施設の期待度	活動の難易度	経済的な効果	課題の魅力性					
テーマの候補									
1事務室の3s	1	3	2	4	3	72	2.35	0.18	4
2利用者への声掛け	2	4	5	3	1	120	2.61	0.20	3
3家族との連絡	5	2	1	2	2	40	2.09	0.16	5
4ナースコールへの対応	3	1	4	5	4	240	2.99	0.23	2
5薬剤配布の効率化	4	5	3	1	5	300	3.13	0.24	1

1. テーマ候補の重要度の高い順に、5.4.3.2.1と順位を付ける。
2. テーマ候補毎に付けた順位を行で掛算し、相乗積を求める。
3. 相乗積の5乗根を求める。
4. それぞれの5乗根を5乗根合計で割算し、ウエイト%を求める。
5. ウエイト%の大きなものから選定順位を決める。

(別紙)

著作物目録 1 - 2

テーマの候補	利用者の満足	施設の期待度	活動の難易度	経済的な効果	課題の魅力度	相乗積	選定順位
①						0	1
②						0	1
③						0	1
④						0	1
⑤						0	1

注. 53ページ テーマ選定マトリックス 参照

[テーマ:]

(〇〇の、〇〇を、〇〇する)

(別紙)

著作物目録 2

CS-QCサークル活動記録表

[V]

J. S. A. A

現状把握① 縮小して貼付する

現状把握②

現状把握③

現状把握④

現状把握⑤

現状把握⑥

CS-QCサークル活動記録表

[VII]

J. S. A. A

現状把握の結果からわかったこと

①

②

③

④

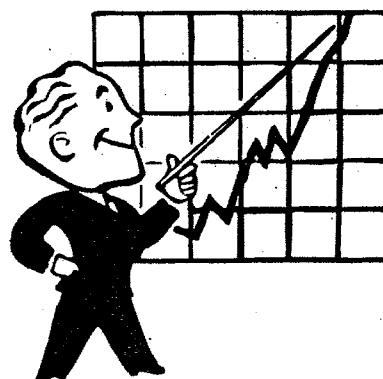
⑤

[4. 目標値の設定]

『 ○○の○○を○○にする』

改善目標値の計算式=(目標設定から完結までの月数-1)×10%

但し、初回活動ではその50%を目標値とする。



CS-QCサークル活動記録表

[IX]

J. S. A. A

[6. 対策立案実施]

- (1) 特性要因図の対策要因の番号順に対策要因図を書き挙げる。
 - (2) 対策要因毎にマトリックスの項目毎の検討をしまとめる。

- (3) 役割を決めて対策案を実施する。
 - (4) 旨く行かない時は調査実験する。

(検証)

^注 107ページ 対策立案と実施 参照

